
「くも膜下出血に対するクラゾセタンを含む多剤併用療法の治療成績」に関するお知らせ

このたび、当院において、くも膜下出血に対する治療後の患者さんの治療成績に関する以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRBの承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出ただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年01月01日から2024年03月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、くも膜下出血と診断されて手術を行った患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

くも膜下出血後の重篤な合併症に脳血管攣縮があり、予防薬として2021年よりクラゾセタンナトリウムが本邦で薬価収載されました。当院でも2022年より使用を開始しており、そのクラゾセタンナトリウムの治療効果を明らかにすることが本研究の目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施が許可された1ヶ月後から

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データ、診療記録等を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である鈴木 海馬が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

くも膜下出血と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 講師 鈴木 海馬
埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 講師 武 裕士郎
埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 教授 栗田 浩樹
埼玉医科大学国際医療センター脳血管内治療科 教授 神山 信也
埼玉医科大学国際医療センター脳血管内治療科 准教授 芳村 雅隆
埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 講師 栢原 智道

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 鈴木海馬
住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

- 研究課題名：くも膜下出血に対するクラゾセタンを含む多剤併用療法の治療成績
- 研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 鈴木海馬